

準天頂衛星システム of 取組状況

準天頂衛星システム

準天頂衛星システムは、常に1つの衛星が日本の天頂付近に滞留し、ビル陰等に影響されない高精度な測位サービスの提供を可能とするシステム。現在、準天頂衛星システムの実現に必要な技術の研究開発を4省(総務省、文部科学省、国土交通省、経済産業省)が連携して実施中。初号機打上げ目標は平成21年度。総務省は、準天頂衛星搭載時計の時刻を高精度に管理する技術(衛星と地上局間の時刻比較技術)の研究開発を実施中。

【19年度実施状況】

時刻管理系の衛星搭載機器の開発、および地上系システムの詳細設計を実施

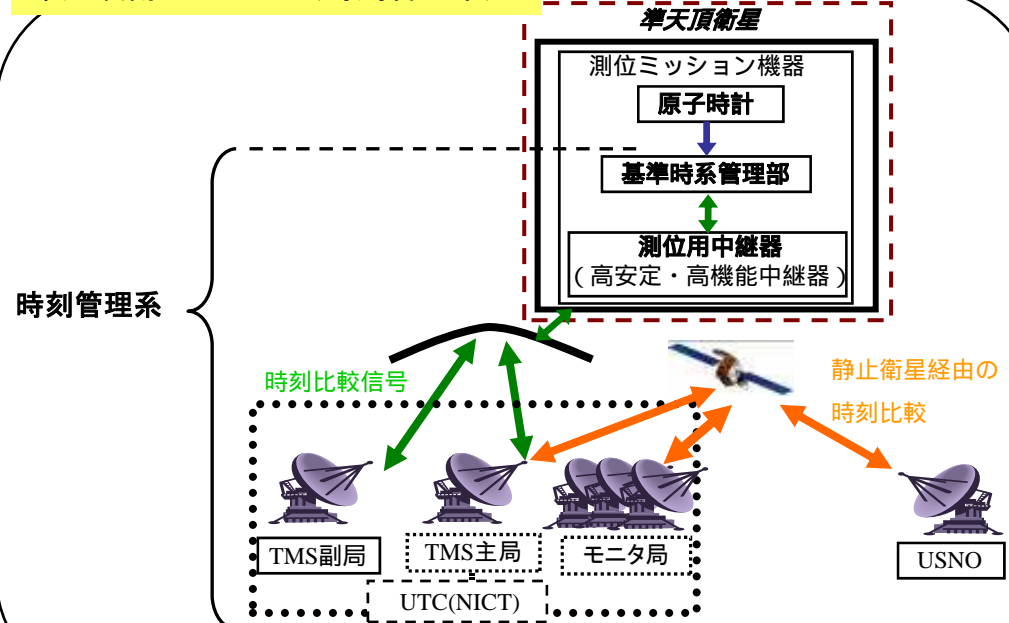
【20年度実施計画】

時刻管理系の衛星搭載機器の試験、および地上系システムの開発、整備を実施

準天頂衛星システムの特長



準天頂衛星システム(時刻管理系)



TMS: 時刻比較制御局 USNO: 米国海軍天文台 UTC(NICT): 協定世界時(NICT生成)